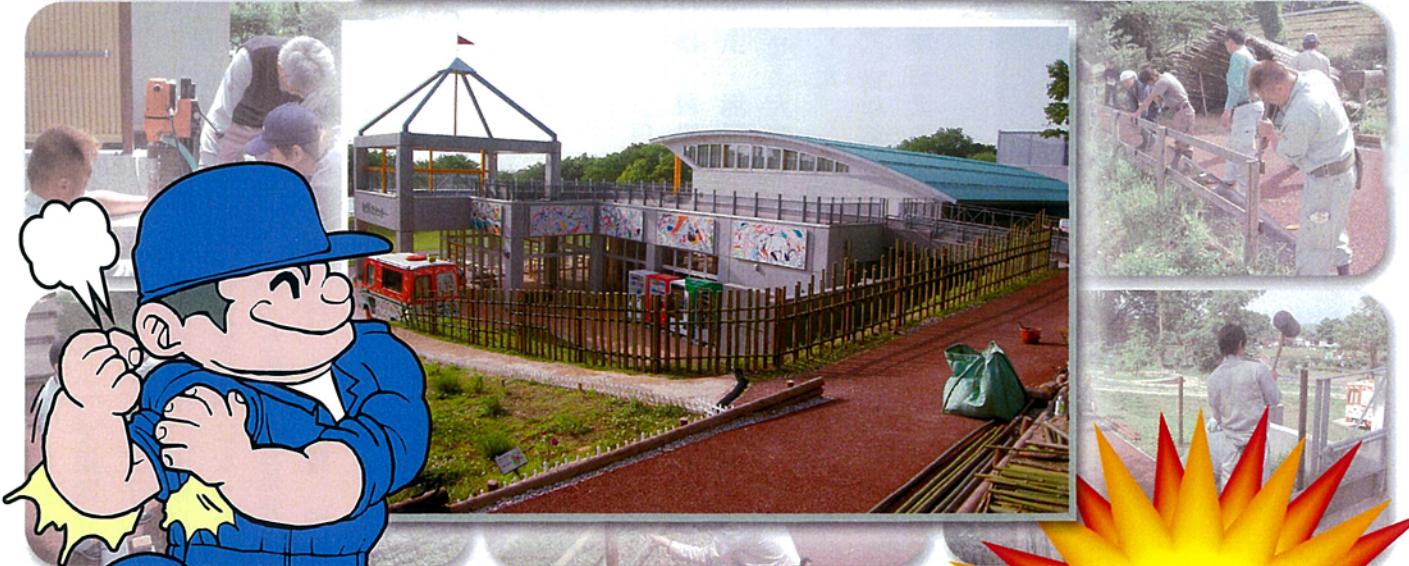


立山



第85号 発行所 富山県造園業組合連合会青年部
編集・広報部 事務局 〒936-0023 滑川市柳原45-1 志甫 英徳

TEL 076-475-6772
FAX 076-475-7160





昨年、九月に青年部設立三十周年式典を無事終え、冬のんびり骨休めのはずだったが、暖冬のせいか雪が降らず仕事の良くできる毎日で、あつという間に春を迎える。青年部の活動事業が行わられてきました。

四月には、昨年も実施した杉沢の沢杉の伐採ボランティア活動では、新川支部の皆さんのが主体となり、多くの部員参加のもと伐採作業、片付けと、速やかに作業がおこなわれました。そして四月二十八日庭の日には、富山



支部の皆さんのが主体でファミリーパークでバンブードームの作成。竹細工及びシユロの葉のバッタ造り教室等の一般の方参加のイベント開催、又五月五日この日の日には、親組合とのカブト虫、無料配布各ボランティア事業はいずれにせよ大変な準備が必要で大変な人力がありました。

十周年の勢いは、まだ失われていない青年部、だからこそ青年部ともあれ、無事終える事ができ皆さんご苦労様でした。

五月二十六日には、技能推進部主催の竹垣講習会が

開催され、大先輩の大村・中田先生講師のもと、銀閣寺垣、四つ目垣をファミリーパーク内に作成しました。



部長吉沢 実

銀閣寺垣は、御影板石を立ててその天端に削穴し、人工竹で銀閣寺垣を取り付けました。四つ目垣は、たて子の高さ本数が変化して行く変形型です。天候にも恵まれ参加した部員の皆大変勉強になつたと思います。参加できなかつた皆さんも是非足を運んでみてください。大村、中田先輩 御指導ありがとうございました。

これから活動として、全国大会・総会（京都）・造園技能士予備講習会・厚生部主催レクリエーション等年中行事が待っています。今年もあと半年ですが暑い夏を乗り切り、もつともつとパワーアップした青年部で頑張りましょう。



ボウリング大会を終えて

森田 知彦 (射水支部)

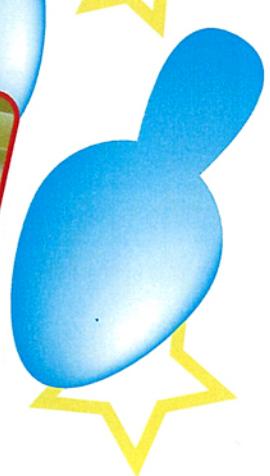


ゲーム結果 (2ゲーム合計)

1位 森田 和彦	309P
2位 新村 崇徳	301P
3位 西中雄一郎	278P

200近くのスコアを取つて、2ゲーム合計で309と、ほんとにラッキーな日でした。こんな僕でも運よく?トップになれるのですから、まだボウリング大会に参加したことがない人も、ぜひ一度参加してみてはどうでしょうか?部員同士の交流がより深まるとてもいい機会だと思います。

2月17日富山地鉄ゴールデンボウルにて毎年恒例のボウリング大会が開催されました。僕は今年は約20名の部員が参加しました。僕はこのボウリング大会には毎年参加していて、例年あまりいい成績はありませんでしたが、今年はなぜか調子よく、思った以上でした。ゲームは、2ゲーム行い、その合計で順位が決まるのですが、1ゲーム目のスコアはまあまあの結果でした。しかし2ゲーム目が、自分でも信じられないくらいのスコアでした。人生で初めて3連続ストライクを出したり、



杉沢の沢スギ ボランティア活動に参加して

平成19年4月7日(土)

細川英治（中新川支部）



昨年に引き続き「杉沢の沢スギ」にて入善町教育委員会、一般ボランティアと共に活動しました。天然記念物にも指定されている沢スギは根元からの萌芽性が強く伏条性があり、枝の発根性があります。この為一株から何本もの幹が出て、間伐する際は主幹を伐り順次大きいものを育てて再度間伐する更新法です。杉株の根元からの萌芽の幼芽が大きくなると積雪の重みで倒れ、毎年の繰り返しで側方に曲がり成長と共に先端が上昇。曲がった部分が着地し、そこから発根して成長を始めます。この伏条現象は日本の平地ではこの沢スギ林ただ一ヶ所です。今回は杉沢の沢スギの特性を取り戻す為、間伐及び伐採が主たる作業となりました。天候には恵まれましたが予想以上の重労働、作業後の達成感、懇親会でのメリハリの利いた設えなど充実した一日でした。部長以下役員の皆さん、各支部より参加戴いた皆さん、関係各所の皆さん、お疲れ様でした。



庭の日を終えて

今井浩司
(富山西部支部)

四月二十八日は『庭の日』です。何年前からこの日が庭の日になつたんでしょうか?まだ十一月二十八日のほうがいい庭の語呂合わせがしつくりくると思います。

した。ファミリー
パーク山本園長と
の話がつい最近の
様に思えます……。

A photograph showing a man in a light blue jumpsuit and a woman in a bright orange jacket standing outdoors. The man is on the left, facing away from the camera towards a blue barrel. The woman is on the right, holding a white clipboard and looking towards the man. In the background, there's a wooden building and a vertical sign with Japanese characters.

山本園長……
「おー、面白い
ねー、じゃあー去
年のような感じで
やらんぞン。



こと
何たかんたて
場所は富山市アマミリパークに決定し島田支部長と私が、パークの方へ場所提供のお願いに行つたのが三月末で

やるんでしょ!!
竹の昆虫とか、野
草茶とか。竹の楽器も面白いかもねー。あ、
楽器作るんなら、それを演奏するステージも
作ってみようよ』……で、竹細工・シュロの
葉バッタ・竹楽器・野草茶・パンブーステー
ジ、ついでに花の種配り:青年部創立三十一
周年の行事になつてしましました。

卷之三

富山西部支部の皆さんには、またまた仕事そつちのけで、作業してくれた事に感謝しています。ほかの部員さんにも休日を潰して、協力していただき、ありがとうございました。

皆さん毎日クタクタになつて仕事をしてい
ると思います。だけどたまには我々の業界、
造園業界がどうあるべきか考えてみましょ
う。
どうPRすれば“お客様”
に近づけるか。それをどう
仕事に結びつけるか。『庭
の日』を利用するのも一案
かもしません。



一週間前に竹を伐採し加工。ステージの製作と竹細工の準備にかかりました。シュロの葉バツタは、金太郎温泉のカチャカチャの宴会の席で講習を行つたので万全でした。野草茶のほうは、御茶処金岡屋に委託です。

人員不足もありましたがステージは二日間で完成。竹細工のほうは、庭の日前夜まで夜間作業が続きましたがなんとか作品が揃いました。野草茶もシュロの葉バツタも準備が整

（四月二十八日がやつぱり庭の日です。十一月二十八日だと、多分、寒いと思ふ……）





技能講習会に参加して

斎藤正紀

(富山中部支部)



5月26日（土）に、技能講習会が富山市フアミリーパークで開かれました。テーマは「創作四つ目垣」と「銀閣寺垣」でした。講師は青年部初代部長で大村造園の大村氏と青年部OBで中田築庭工房の中田氏でした。御二方とも造園に関して卓越した技術と繊細な感性をもつておられる方々なので、楽しみにしておりました。

銀閣寺垣（塩ビ竹）は、基礎となる割肌のミカゲ石にコアで穴をあけ、石の上に直接柱を建てて垣を制作する加工でした。墨出し、コアでの穴あけ、材料の加工など、大村講師の指導のもと作業は進みました。作業中は、受講者それぞれが意見を出し合い、真剣に取り組んでおりました。





創作四つ目垣（曲線型）は中田講師の指導のもと作業が行われました。四つ目垣は高さに変化がある立子や、光悦寺垣のような美しい曲線を取り入れたものでした。その為、寸法だけにとらわれず、バランス、感覚が重要でした。

野開造園土木（株）の野開氏も指導して下さり、四つ目垣の間取りの大切さを教えていただきました。

講習を受けることによって、技術の習得だけでなく、普段は聞くことができない造園の話も聞くことができ、大変有益な講習会でした。

「いいものを見て「マネぶ」（学ぶ）ことが大事。」いいお話をしました。

参加された方々の「ものづくり」に対する情熱と、青年部の団結力を力強く感じました。今後も講習会に積極的に参加し、技術の習得と造園の心を豊かにしていきたいと思います。



**新婚さん
いらっしゃい**

● 盛田武志 (富山中部支部)



・ 奥様の名前 容子 (ようこ)

・ 得意料理 和・洋食

・ 出会ったきっかけは?

高校の同級生

・ 結婚されたのはいつ?

H19年6月9日

・ プロポーズの言葉は?

ひ♡み♡つ

・ その他

富山中部青年部の方で
結婚式の2次会に出席
していただき、どうも
ありがとうございました!

た!



★ 富山西部支部 安部文也

- ・ 子供の名前 璃音 (りのん)
- ・ 奥さんの名前 瑞香 (みづか)
- ・ 生年月日 H19年4月11日
- ・ 性別 女
- ・ 子供に向けて一言 明るく活発な子に!!



編集後記

私達、新広報部となり、3回目の「立山」発刊するはこびとなりました。マラソンで例えれば折返し地点を回った感じです。とても早いものです。

また、みなさまの方へ、原稿等の依頼があった時は、ご協力の程宜しくお願ひ致します。

新入部員紹介

斎藤正紀 (富山中部)



① 斎藤造園
② S47年1月1日
③ 勉強させていただきます。

①会社名 ②生年月日 ③一言コメント



よろしく
おねがいします

子孫繁榮

榮

孫

繁

子



広報部

志甫英徳
西野暢優